

○政務活動（行政視察・研修）報告書

政務活動実施状況

会 派 名 (参加者)	公正会・市民の声連合 (沢田広志、小黒弘、武田真)
視察・研修名	河川の冷水を利用した流雪溝の運用状況等について（士別市、苫前町）
視察・研修の 目 的	砂川火力発電所の廃止後も流雪溝を維持するためには、様々な課題が想定されます。そこで、河川の冷水を利用している両自治体における流雪溝の運用方法等について知見を得るため、視察を行い、これを議員活動に役立てるものとする。
日 時	令和 6 年 11 月 7 日（木）～ 8 日（金）
視 察 研 修 の 概 要	（１）士別市の流雪溝は、市内の国道、道道、市道の地下に総延長約 10 キロメートルの水路が設置されており、天塩川から取水した水を利用して、除雪した雪を剣淵川へ放流しています。流末においては、下水処理水（9 度）と混合してスムーズな排水を行っています。また、中央監視室が設置され、異常が発生しそうな状態を常にチェックする体制も整っています。 この流雪溝システムは、平成 7 年度から運用が開始され、毎年 11 月 25 日から翌年 3 月 31 日までの期間に利用されています。利用にあたっては、地域住民で組織される「士別市流雪溝管理運営協議会」が定めた投雪ルールに従い、道路交通に支障が出ないように配慮しながら投雪作業が行われています。 ※施設の概要 ○使用開始：平成 7 年 ○路線延長：国道 40 号他 10, 125m ○水源：天塩川 ○運営主体：士別環境整備事業協同組合 （２）苫前町古丹別地区の流雪溝は、国道・道道・町道の一部に設置され、沿道住民による除雪・排雪を前提に平成 9 年度から運用開始されました。除雪で路肩に寄せられた雪を住民が側溝へ投雪し、河川水で流します。中央監視室も異常を常時チェックしています。 しかし、運用開始から 20 年弱が経過し、過疎化・高齢化により住民の投雪参加や運用面で課題が生じています。これに対応するため、住民・行政・管理者が協力し、道路環境の維持に努めています。 また、近年は増毛町と連携し、投雪作業を相互支援する取り組みも行われ、冬の生活環境維持と地域活性化が図られています。 ※施設の概要 ○使用開始：平成 9 年 ○路線延長：国道 239 号他約 3, 271m ○水源：三毛別川 ○運営主体：苫前町古丹別流雪溝管理運営協議会

※視察研修の概要には、視察研修先等を含め記載のこと